

## 前略

昨日の双葉翔陽高等学校による全国高P連事務局訪問に際しては、ご多忙中にもかかわらず会長自ら激励のためにお時間をお取りいただき、本当にありがとうございました。

これまでサテライト校の中で後輩のいない最上級学年生として、次年度からの休校に向け一生懸命学習や部活動に取り組んできた生徒の思いを受け止めていただき、心から感謝申し上げます。

双葉翔陽高等学校の生徒はもとより、休校となる五校の生徒も卒業後には福島を離れる者もいれば、故郷においてさらに精進する者もおります。それぞれ進路は異なりますが、自分たちを支えてくれる人がいるということを胸にしながらいよいよ生きて行ってくれるものと信じます。

生徒一人一人にとっても、そして、保護者にとっても、これまでの貴会会員すべての方々の福島への思いのこもった多額の義援金とその優しい気持ちが生涯の支えになるものと思います。

本県の復興は道半ばではありますが、今後とも日々の生活を大切にしながら歩んでまいりますので、今後とも御指導・御鞭撻のほどよろしく願いいたします。

末筆になりますが、貴会の今後益々の御発展と貴会会員の益々の御健勝を心よりお祈りいたします。

草々

平成28年12月9日

福島県高等学校PTA連合会  
会 長 田中 清美

一般社団法人全国高等学校PTA連合会  
会 長 佐野 元彦 様